

オタリテック

LAWO 社やPMC 社の製品展示などを主体としたメインブース（写真下）と、RIEDEL 社製品のブースを向かい合わせで設けたほか、1~7 ホールの他社ブースとの間をIP で結ぶ特別共同展示のデモンストレーションにも参画し、AES67、SMPTE ST2110 対応 IP 関連製品を多数出展した。



< LAWO >

世界中のスタジオ、中継車で使われる LAWO 社コンソールの中でも最大の導入数を持つ mc²56 は、SMPTE ST2110、AES 67/RAVENNA ヘネイティブにフルサポートした最新第3世代バージョンを展示。また、IP ルーティング/プロセッシングプラットフォーム「V_Matrix」をはじめとしたビデオ/IP 関連機器を規模を拡大して展示した。



LAWOのIPネットワーク製品と「mc²56」を展示

LAWO IPネットワーク製品▶
http://www.otaritec.co.jp/products/lawo/products/a_line.html



LAWO mc²56▶
<http://www.otaritec.co.jp/products/lawo/products/mc256.html>



LAWO Ruby▶
<http://www.otaritec.co.jp/products/lawo/products/ruby/intro.html>



< Riedel Communications >

Riedel 社からはすでに多くの国内導入事例のあるワイヤレスインカム「Bolero」をはじめ、レバーキーを搭載したインカムパネルをはじめ様々なアプリケーションに対応する多機能インターフェイス「RSP-1232HL」、ST2110 対応となった Micron IP など多くの新製品を展示した。



RIEDEL BOLERO▶
<http://www.otaritec.co.jp/products/riedel/bolero/>



昨年のNABショーで発表したRiedelの新製品『SmartPanel』。RIEDEL『SmartPanel App』駆動のユーザー・インターフェイスに基づく新製品1200 Series『RSP-1232HL』(Hybrid Lever)多機能インターフェイスは、ワークフローの柔軟性とパワーと接続能力を格段に進化させる。この新パネルは複数のフルカラー・マルチタッチ・ディスプレイや32個の独創的なハイブリッド・レバー・キー、多機能アプリを活用する能力、そして今日用いられている様々なワークフローに簡単に適応する能力を備えており、ユーザーの従来方式の作業が可能でありながら、まったく新しい可能性も拓きます。



RSP-1232HL▶
<http://www.otaritec.co.jp/products/riedel/controlpanels+interfaces.html>



< OTARI LWB >

600 台をこえる国内導入数をもつ光ジープ LWB。可搬型の LWB-24、据え置き型の LWB-72 を展示。



LWB-72▶
http://www.otaritec.co.jp/web-catalogs/otari_lwb2472_leaflet_2018-09_web.pdf



< PMC >

英国PMC 社からは英国メトロポリススタジオや米国キャピトルスタジオなどが導入した新世代のメインモニタリングシステム「QB1A」をはじめ「QB1A」と同じピストンフラットベースドライバーを搭載した3ウェイミッドレンジモニターの「IB1S-A」、ニアフィールドのtwotwo シリーズなど多彩なラインナップを展示。（写真上）

IB1S-A▶
<http://www.otaritec.co.jp/products/pmc/products/ib1s-a.html>



< Phonak >

Phonak『Roger™』システムは、ライセンスフリーの2.4 GHz 帯を利用したデジタル・ワイヤレス・イヤピース・コミュニケーション（送り返し）システム。

補聴器メーカーとして世界的に有名なPhonak社の技術を用いて開発されたストレスフリーで小型のイヤピース型受信機、低ノイズで高いサウンド・クオリティ、簡単な設定を特徴とし、様々なアプリケーションで演出の邪魔にならずに最適なスタジオ・コミュニケーションを提供する。



Phonak Roger▶
http://www.otaritec.co.jp/products/phonak_roger/index.html



< dB audiotechnik >

新シリーズA-Series オグメント・アレー・ラウドスピーカーを展示。A-series は中規模用途向けに設計されており、可変スプレッドと音響的最適化をコンパクトなフォーマットに組み合わせたA-Series はカバレッジの柔軟性が重要な様々な用途に適し、ラウドスピーカー1本から充実したSRソリューションまで拡張可能なシステムとなる。



A-Series▶
<http://www.otaritec.co.jp/products/db/index.html>



伊藤忠ケーブルシステム

4K/8K 制作ツールを中心に多様なソリューションを展示した。

◆高性能4K SDR/HDR クロスコンバータ
Technicolor エンジンによる印象的なSDR/HDR 双方向コンバータを展示。過去素材をワンパスで高品位な4K HDRへ、また4K HDR カメラの撮影素材も安定した放送用HD SDRへ変換が可能な製品。



▶ https://www.itochu-cable.co.jp/products/Cobalt-Digital/item_4046



◆支援システムによる素材管理 (参考展示)
ニシコンJaprs 連携によるファイルベース素材管理をご提案。MAMの運用に欠かせない素材メタの収集と作成をアシストすることにより、素材整理の判断と作業を容易にし、リソースの有効活用を可能にする。

◆AIによるハイライトシーンの自動作成

VALOSSA Valossa 社製AI製品を初展示。手間のかかる大量コンテンツのダイジェスト版作成を同社のAIエンジンを使って自動で作成。高次元のAIエンジンを使い、動き、感情や表情を解析し、作品の意図に沿ったハイライトシーンを自動抽出する。

▶ <https://valossa.com/>



◆4K/8K ノンリニアワークフロー

4K/8K 映像コンテンツ制作システムを汎用性のあるWorkstationベースで構築展示。4K/8K 化の懸念であったデータ容量の増加に対応しながらも8K映像制作に必要な転送速度も考慮したシステム提案です。

▶ <https://www.itochu-cable.co.jp/4k/edit.html>



◆QC ツールコーナー

パカパカチェッカーの標準機ハーディングの4K/HDR対応製品や Venera Technologies 社製Pulsar 最新バージョン、ターボシステムズ社のXAVC素材のプレビューに有効なXJive-MXFプレーヤを展示した。

▶ https://www.itochu-cable.co.jp/products/production/harding/Cambridge_Reserch_Systems



▶ https://www.itochu-cable.co.jp/products/Venera_Technologies/item_4039

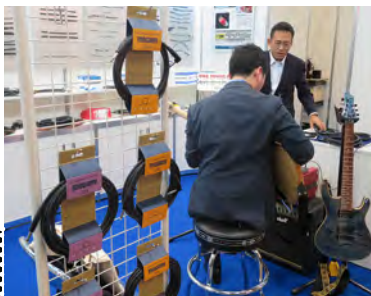


モガミ電線

放送局、レコーディングスタジオ、公共ホール等の業務用オーディオ・ビデオ及びコンピュータのインターフェース・ケーブル等を開発し、販売を行う同社では、定評のある柔軟かつ機械的強度に優れたケーブルや、基礎・基本的な工学技術に於いて他社を凌駕する技術情報の蓄積を活かした付加価値の高い製品作りを行なっている。このような高度な技術を活かし、イーサネットケーブル、BNCコネクタ付き同軸ケーブル、110Ω AES/EBU デジタルオーディオ・マルチケーブル、吊りマイクケーブル、0.226mm² ステレオマイクケーブル、高解像度チューブ・マイクロフォン・ケーブルなどを主力製品としている。

本年の同社ブースでは、ケーブルの違いによるギターの色合いの違いを来場者に実感してもらうテストが行われ、注目を浴びていた。

そのほか本展では、3極⇄5極変換アダプター、120Ω ターミネーター、RoHS対応の「DMXシリーズ」アクセサリや、アメリカBTX社のネジ止め方式のコネクタ「ターミナルブロックコネクタ」などを紹介した。



▲ 試聴テストを行なった来場者
▲ 試聴テストに使用されたケーブル



MOGAMI

MICROPHONE CABLE

モガミ マイク・ケーブル

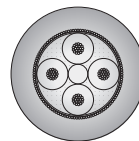
HIGH TENSION AERIAL MIC. CABLES

吊りマイクケーブル

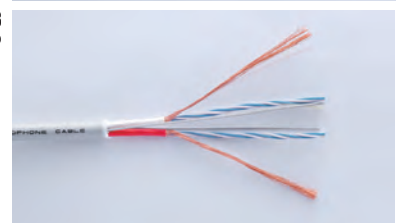
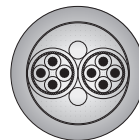
モノラル版には切断荷重 830N のステンレス・ワイヤロープを1本、ステレオ版には2本(計 1,660N)を加えた吊りマイクケーブルです。

広範囲に利用できるように総てカッド(4芯シールド)構造に設計されています。

Part No.3177
(MONAURAL)



Part No.3178
(STEREO)



お問い合わせ

モガミ電線株式会社

モガミ電線株式会社

PHONE: (0263) 52 0131

E-MAIL: sales@mogami-wire.co.jp URL: http://www.mogami-wire.co.jp

朋 栄

「FOR-A World of Possibilities (無限の可能性に向けて)」をメインテーマとして継続しながら、ブース内を「トータルマネジメント」「スイッチャー/ルーティングスイッチャー」「プロセッサ」「ファイルベース」「グラフィックス」「スーパースローモーションカメラ」「輸出入取扱製品」の7つのエリアに分けて展示。12G-SDI/IP製品、HDR対応製品、グラフィックス関連製品などを組み合わせ、制作現場の省力化・自動化というニーズに対応可能な製品/ソリューションを出展。



トータルマネジメント紹介コーナー

■トータルマネジメント

12G-SDI/IP、グラフィックスなどの技術基盤を活用し、信号分配や回線、ライブ制作、編集制作の各環境の統合を実現。

● 総合管理制御ソフトウェア「SOM-100」: ベースバンド、IPを意識することなく、各種機器を統合制御可能。

● IP対応マルチチャンネルビデオサーバー「MBP-1000VS-IP」: Video over IPで10Gbps映像入出力に対応。XAVCコーデックを最大2系統搭載可能な4Kモデルと、MPEG-2コーデックを最大8系統搭載可能なHDモデルをラインアップ。

● 映像圧縮コーデックモジュール「USF-106TICO-12G」: TICOコーデックを使用して圧縮/伸長を行い、4K UHD映像を3G-SDIで伝送可能。

● IPゲートウェイモジュール「USF-10IP」シリーズ: IP規格のSMPTE ST 2022-6、ST 2110の相互変換が可能。SDIモデルでは、SDIとIPの相互変換に対応。

■スイッチャー/ルーティングスイッチャー
番組/報道制作に不可欠な各種12G-SDI対応スイッチャーを展示。

● 12G-SDI対応ビデオスイッチャー「HVS-6000/6000M」(新機能): 全入力12G-SDIに標準対応した2M/Eビデオスイ

ッチャー。3M/E構成に拡張可能。25GbE IPポートを8基備えたIP入出力カードオプションHVS-6000IP-8IOも、新たに追加。

● 12G-SDI対応ビデオスイッチャー「HVS-1200」: 12G-SDIに対応し、4K UHD 10入力・10出力が可能。

● 12G対応ルーティングスイッチャー「MFR-6100」(NEW): 12G-SDI入出力で、最大144入力×144出力のマトリクス構成が可能。入出力は、それぞれ9系統単位で拡張可能。CPU、電源ともに冗長構成が可能。

■プロセッサ

12G-SDI/IP、グラフィックスなどの技術基盤を活用し、信号分配や回線、ライブ制作、編集制作の各環境の統合を実現。

● 12G-SDI対応シグナルプロセッサ「FA-9600」(新機能): 標準でHD2系統、オプションで4K+HDの処理が可能。SR Live for HDRに対応するほか、SFP+オプションも登場。4K HDRディスプレイの設定を連動させるVideo Payload ID連動機能を搭載。

● 12G-SDI/IP対応信号発生器「ESG-4200」(朋栄エレテックス製): SMPTE ST 2022-6、ST 2110によるIPストリームの出力に対応。SDI出力は2系統出力に拡張でき、各系統ごとに独立した制御、設定が可能。Video Payload ID編集機能も搭載。

● タイムラグチェッカー「EDD-5400」(朋栄エレテックス製): Quad Link 3G-SDI、HD-SDIの各信号フォーマットにおいて、映像、音声、音声CH間、映像と音声間の遅延、およびVANC信号と映像間の遅延を測定可能。オプションで12G-SDIに対応するほか、GNSS(衛星測位システム)で遠隔地間の伝送遅延測定が可能。

● 12G-SDI対応フレームレートコンバーター「FRC-9100」: 4K/HDのアップ/ダウン/クロス変換をサポート。オプションで12G-SDIに対応。

● ユニバーサルシステムフレーム用各種USFモジュール製品: システム構築に欠かせない各種モジュール製品を、12G-SDI対応製品を中心に紹介。

■ファイルベース

送出/収録に対応可能なビデオサーバー製品をはじめ、字幕制作関連製品や簡易プレビュー用のアップ/ダウンコンバーターなどを展示。4K、HDR、広色域など最新ワークフローに対応。

● 12G-SDI対応マルチチャンネルビデオサーバー「MBP-1000VS-12G」: コーデック



搭載数に応じた同時収録または同時再生が可能。エンコード中の追いかけ再生にも対応。

● LTO-8テープ対応LTOサーバー「LTS-80」: LTO-8テープ(最大記憶容量12TB(非圧縮時))に対応。最大転送速度300MB/秒のLTO-8ドライブにより、4K時代に求められる大容量のアーカイブやバックアップをサポート。

● MXF字幕ソフトウェア(朋栄IBE製): MXFラッパー/プレーヤー/プロキシトランスコーダーのほか、音声認識技術を活用した字幕制作支援機能、文字起こし支援機能を展示。

● 4Kフレームレートコンバーター「MCC-4K-A」[NEW]、4Kダウンコンバーター「IF4K-DNC」、8Kアップコンバーター「IF8K-UCN」、8Kフレームシンクロナイザー「IF8K-FSCC」(InSync社): 軽量でコンパクトなInSync製コンバーターを展示。4K/8K制作時のプレビュー用途に活躍

● 簡易CG/キャラクタージェネレーター「CG-Portable」[NEW](Brainstorm社製): BrainstormによるライブCGを搭載したCG/キャラクタージェネレーター。

● スケールアウト・プロダクションサーバー(EditShare社|VGI): 編集用共有ストレージとして最適なEditShare製EFSシリーズを展示。

■グラフィックス

テロップ製品や、フレキシブルなカメラ運用が可能なバーチャルスタジオ製品など、グラフィックスを活用する製品/ソリューションを展示。

● 12G-SDI対応キャラクタージェネレーター「VWS-1000-12G」: 12G-SDIに対応し、4K UHD利用時に1系統送出、HD利用時に2系統送出が可能なキャラクタージェネレーター。

● 12G-SDI対応スタンドアロン型キャラクタージェネレーター「EzV-300-12G」: 12G-SDI対応モデルが加わりラインアップが充実。シンプルな運用が可能な4K対応キャラクタージェネレーター。

● センサーレスバーチャルシステム「VRCAM-NX」: 最大4台のバーチャルカメラを使用可能。CG描画エンジンにBrainstorm eStudio



HVS-6000/6000M

InterBEE2019 出展社概要

Ver.15を採用。Mo-Sys社リアルタイムカメラトラッキングシステムStarTrackerを併用してのバーチャル運用を紹介するとともに、eStudioVer.15でUnreal Engineとの連携(オプション)を紹介。

■スーパースローモーションカメラ

B4マウントを搭載した4Kスーパースローモーションカメラをはじめ、HD切り出し装置やフラッシュ軽減装置などを展示。

●12G-SDI対応フル4K高速度カメラ「FT-ONE-SS4K」:2/3インチイメージサークルに対応し、フル4Kで1000フレームのハイスピード撮影が可能。HDR/広色域にも対応。

●4K→HD切り出し装置「ZE-ONE」:4K映像から任意サイズの切り出しポイントをHDコンテンツとして出力。指定オブジェクトをリアルタイムに自動追尾するオブジェクトトラッキング機能を搭載。

●リアルタイムフラッシュコレクター「RFC-ONE」:フラッシュ光による画面の明滅をリアルタイムに補正し、自動的に軽減可能。

■輸入取扱製品

朋栄取扱いの各種輸入製品を展示。スポーツ制作やイベント中継、取材中継などに活用可



スーパースローモーションカメラ紹介コーナー

能。

●簡易中継ソリューション Dejero EnGo/Dejero PathWay、インターネット接続ゲートウェイ Dejero GateWay Router (Dejero社):3G/4G/LTE、Wi-Fi、イーサネット、衛星回線の帯域をブレンディング。映像伝送用の簡易中継ソリューションDejero EnGo/Dejero PathWayや、各種データ転送も可能にするインターネット接続ゲートウェイDejero GateWay Routerを紹介。

●自動スポーツ映像制作ソリューション Pixellot S1 (ピクセロット社):高解像度パノラマ映像から、シーンの切り出し、切り出し位置の追従、ハイライトでズームアップする本格スポーツ番組を、AIにより自動生成。



バーチャルシステム紹介スペース

●インスタントリプレイシステム Envivo Replay (Variant System Group社):シンプルさを追求したインスタントリプレイシステム。直感的なGUIを採用し、タッチパネル上で指1本で操作可能。スローモーションコントローラーの使用も可能。2RU筐体で6入力・2出力を実現。

●自動ハイライト制作ソリューション SMARTLIVE (Tedral Media IT社):AI活用により映像メタデータを解析。ハイライトシーンを集めた映像を自動作成可能なソリューション。

ネットワークエレクトロニクス

同社では、Digital Nirvana(デジタルニルヴァーナ)社「Minitor IQ」(モニターIQ)を国内初公表。Monitor IQは、Volicon Observer(ポリコンオブザーバー)に代わるデジタルニルヴァーナ社法定同録装置である。Debian Linuxベースのwebサーバーアプリケーション製品であるSDIベースバンド及びTS、IPなど多くの入力方式に対応した長時間録画と軽快なファイルハンドリング機能を持つマルチチャンネルモニタリング機能を実装。同録、モニター、レポート、ファイル変換・転送が可能。データ解析、ソーシャルメディア向けやOTT、ストリーミングサービスとの連携が可能となっている。



またNevion製品では、Live IPメディアコントロール&オーケストレーション、多機能メディアプロセッサー・ゲートウェイ、IP/ベースバンド・ハイブリッド・システムインテグレーション「VideolPath/Virtuoso」を紹介(写真上)。

BRIDGE TECHNOLOGIES製品では、IPメ



ディアモニタリング監視、集信/配信メディア監視、非圧縮ベースバンド、TS圧縮ビデオオーディオメディア「Stream Labs」を紹介。そのほか、CHYRONHEGOセンサーレスリアルタイムバーチャルグラフィック合成システム「VIRTUAL PLACEMENT」などの展示も行なった。

▶<https://network-electronics.co.jp/>



digital nirvana™ Monitor IQ

「法定同録だけじゃない」

放送事業者は、幅広い規制およびコンプライアンス要件を満たすために、放送コンテンツに関する知識を収集して使用する必要があります。Digital NirvanaのMonitorIQは、放送事業者にコンテンツの記録、保存、監視、分析、再利用を可能にする安全で使いやすいソリューションを提供いたします。

Volicon Observer ブロードキャストモニタリングおよびコンプライアンスログ製品の販売終了の発表により、Digital NirvanaはVoliconの顧客が次世代のブロードキャストモニタリングおよびコンプライアンスログプラットフォームにスムーズに移行できるよう支援いたします。

製造元:
digital nirvana digital-nirvana.com

輸入販売元:
ネットワークエレクトロニクスジャパン 株式会社

リーダー電子

新製品「LV5900」8K対応波形モニター、「ZENシリーズ」に追加された4K-IP(25G)モニター/ジェネレーター、「LT4610」の8K対応は、今後の国内・海外需要に適應させたあらゆるユーザー層に推奨する製品。また、イギリスの世界的な映像、音響、放送測定器メーカーであるPHABRIX社が当社の仲間になり、製品ラインナップが強化された。さらに、新しい試みになるクラウド環境を利用したコンテンツヘルスチェッカーを開発した。このような多様化するニーズに対応する製品を一堂に展示した。

◇ LV5900 8K 波形モニター



- ・8K/4K/2K 映像フォーマット
 - ・波形/ベクトル/ピクチャー/オーディオ/アナライズ/ジェネレーター機能
 - ・MADI 入力対応 ・液晶サイズ: 9インチ
 - ・4U ハーフラックサイズ
- ▶ <https://www.leader.co.jp/products/broadcast/waveform/lv5900/>



◇ LV5600 2K/4K/IP/4入力波形モニター:



- ・4K 12G SDI & 4K 25G IP ハイブリッド
 - ・波形/ベクトル/ピクチャー/オーディオ/アナライズ/ジェネレーター機能/簡易字幕機能
 - ・液晶サイズ: 7インチ
 - ・3U ハーフラックサイズ
- ▶ <https://www.leader.co.jp/products/broadcast/waveform/lv5600/>



◇ LV7600 2K/4K/IP/4入力ラスタライザー



- ・4K 12G SDI & 4K 25G IP ハイブリッド
 - ・波形/ベクトル/ピクチャー/オーディオ/アナライズ/ジェネレーター機能/簡易字幕機能
 - ・1U フルラックサイズ
- ▶ <https://www.leader.co.jp/products/broadcast/rasterizer/lv7600/>



◇ LV5300/LV5350 2K/4K/2入力 波形モニター



- ・LV5300 EYE 付き
- ・LV5350 EYE無し
- ・波形/ベクトル/ピクチャー/オーディオ/アナライズ/ジェネレーター機能/簡易字幕機能
- ・液晶サイズ: 7インチ
- ・3U ハーフラックサイズ
- ・電源: DC10V ~ DC18V

▶ <https://www.leader.co.jp/products/broadcast/waveform/lv5300/>



▶ <https://www.leader.co.jp/products/broadcast/waveform/lv5350/>



◇ LV7300 2K/4K/2入力 ラスタライザー



- ・SDI & IP ハイブリッド
- ・波形/ベクトル/ピクチャー/オーディオ/アナライズ/ジェネレーター機能/簡易字幕機能
- ・1Uフルラックサイズ

▶ <https://www.leader.co.jp/products/broadcast/waveform/lv7300/>



◇ LT4610 ジェネレーター



- ・アナログブラック同期信号出力
- ・ゲンロック機能
- ・GPS/PTP/12G 4K オプション
- ・2重化電源

▶ <https://www.leader.co.jp/products/broadcast/sg/lt4610/>

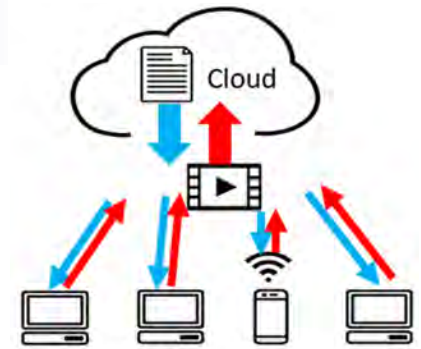


◇ LT4448 チェンジオーバー



- ・入出力BNC11組、LTCのチャンネル
- ・対応信号: SDI信号、NTSC/PALブラックバースト信号、HD 3値同期信号、AES/EBUデジタルオーディオ信号
- ・ワードクロック信号、LTC信号
- ・2重化電源・異常アラーム

▶ <https://www.leader.co.jp/products/broadcast/sg/lt4448/>



◇ クラウド型QC [参考出品]

- ・動画・音声を含むコンテンツの異常をチェックするクラウドサービスです。
- ・コンテンツの異常と思われる部分を抽出します。
- ・複雑なパラメーター設定は必要ありません。

◇ LF965 4K/8K 対応レベルメーター



日本国内における高度広帯域衛星デジタル放送(4K/8K放送)、衛星デジタル放送(2K放送)、および地上波/CATVデジタル放送に対応したレベルメーターです。

▶ <https://www.leader.co.jp/products/rf/lf965/>



◇ PHABRIX TAGC アナライザー/ジェネレーター



- ・IP ST2110 / ST2022対応
- ・コンポジットの入出力(BB,3値対応)
- ・ビデオ信号発生器 3G/HD/SD-SDI

▶ <https://www.leader.co.jp/products/resale/sx-tag/>



◇ PHABRIX QX



ハイブリッド IP/SDI、4K/UHD、HDR/WCG 世代の高度なラスタライザー

▶ <https://phabrix.com/ja/products/qx/qx-series/>



◇ VB440 高性能IPトラフィック監視装置



- ・高ビットレート IP メディアトラフィック監視
- ・QoS (Quality of Service)
- ・デュアル 100 ギガビット
- ・ST2110 / ST2022-6 非圧縮メディアをサポート
- ・8K / 4K IPサポート

▶ <https://www.leader.co.jp/products/resale/bridge-vb440/>



フォービット

《オーディオミキサー/マトリックス》

《NEW》12×10 ポータブルデジタルオーディオミキサー「PMX-1210」: アナログライクな操作性のポータブルデジタルオーディオミキサーで、EIA19 インチラックに実装可能なW420 x H160 x D460のサイズ。デジタル(AES-3id)/アナログ信号混在の12×10 デジタルオーディオミキサー。EIA19 インチラックに実装可能で、INPUTはデジタル/アナログ入力モノラル8系統、アナログステレオ入力、ステレオリターン入力各2系統。モノラル入力/ステレオ入力は、デジタル(AES-3id)入力と切換え使用が可能。モノラルチャンネルは、2タイプのHPF/LPF、2タイプのコンプレッサー、3バンドのEQが使用可能。2系統のマスター出力とバス出力は、デジタル(AES-3id)とアナログL/Rにて出力。AUX出力はアナログL/Rが1系統、モノラルが2系統。デジタル(AES-3id)で選択出力可能。マスター及びバス出力はラウドネス値の計測が可能。モニター出力はL/Rアナログ1系統が使用可能。コミュニケーション入力1系統、TB及びPFL信号(択一選択)の外部出力1系統使用可能。ダイレクトアウト1系統(アナログ8



▶ <http://www.fourbit.co.jp/products/pmx-1210/>



チャンネル)。内蔵TBマイク及びモニタースピーカー搭載。同期信号は、入力AES信号、WORD、VIDEO信号(NTSC/PALを自動切換え)が選択可能。本機を2台接続し、カスケード接続による入力チャンネル増設可能。

32×20 アウトプットマトリックスユニット「MTX-2420」: SDIエンベデッド音声・デジ・アナ混在入力可能/ラウドネスメータ機能、ダウンミックス機能を搭載。

6×6 オーディオマトリックスミキサー「MTX-0606」: デジ・アナ混在入力、AC・DC電源併用、カスケード接続可能。

《MADI、22.2 マルチチャンネル音響 関連機器》

22.2ch 音響アップ/ダウンコンバータ「T-1508」: MADI入力×1系統、デジタル入力×4系統、MADI出力×2系統(パラレル出力)、デジタル出力×4系統、デジタルモニター出力×1系統/モノ/ステレオ⇒22.2ch音響にアップコンバート/22.2ch音響⇒5.1ch⇒ステレオにダウンコンバート

22.2ch 音響ラウドネスメータユニット「LM-22」: 22.2ch+5.1ch+2chを3系統同時ラウドネス計測。

MADIディレイユニット「MD-64」: 最大6秒×64ch

MADIディストリビューションアンプユニット「MDA-8」



22.2ch 音響アップ/ダウンコンバータ「T-1508」



30ポイントMADI 32ch バーグラフメータユニット「MB-532」: MADI信号(AES-10)の音声レベルを表示する30ドット32チャンネルのバーグラフメータ。「SELECT」スイッチにより、MADI信号の「1~32ch」/「33~64ch」の表示を切換えることが可能。



《3G/HD/SD-SDIエンベデッドオーディオモニター》

MADIオーディオモニター「MS-564」: MADI信号を直接入力してオーディオモニター可能。22.2から5.1およびステレオへのダウンミックス機能(専用デジタル出力装備)。上記ダウンミックスのモニターも可能。ダウンミックスの係数設定を、5.1およびステレオともに3パターンプリセット可能。入力素材やダウンミックスを自由に割り当て可能なMADI出力(電源OFF時は入力スルー)。

3G/HD/SDエンベデッドオーディオモニター「MS-822V」: VUメータ搭載。エンベデッド音声、デジタル音声、アナログ音声に対応。

3G/HD/SDエンベデッドオーディオモニター「MS-832」: AC電源またはDC+12V電源から選択。可搬型コンパクトステレオモニタースピーカー W158×H86×D130mm

ますます多様化するフィールドで応える柔軟さと確実性

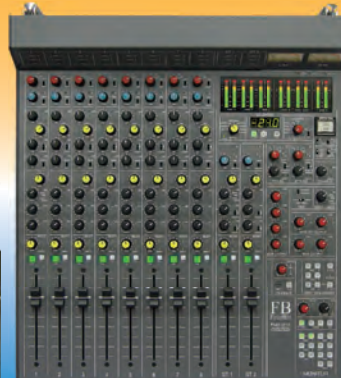
FB
FourBit

株式会社
フォービット

〒358-0014
埼玉県入間市宮寺 2720
TEL: 042-934-7720
FAX: 042-934-5664
TEL: 042-935-0551 (営業部直通)
URL: <http://www.fourbit.co.jp>

PMX-1210

12×10 ポータブルデジタルオーディオミキサー
税抜価格 ¥1,950,000



- アナログライクな操作性 見た目そのままの安心感
- EIA19 インチラックに実装可能
外形寸法 W420 × H160 × D460
- カスケード接続による入力チャンネル増設
- AC電源とDC+12V電源併用によるリダンダント動作
- マスターアウトのラウドネス計測機能
- TBマイク、モニタースピーカー 内蔵
- ビデオ同期/ワードクロック同期/デジタル入力同期

グラスバレー

<https://www.grassvalley.jp/>



今年60周年を迎えるグラスバレー。InterBEE 2019 ではアプリケーションごとの展示を行い、最新のワークフローを紹介。さらに、最も注目されているリモートプロダクション、東京オリンピックでの活躍も期待されるカメラを用いたHDR制作、さらに今や数少ない日本開発の編集システムとなったEDIUSとRioの最新バージョンを展示した。

Remote/At-Home Production



ライブ中継の現場と局内設備をIPで接続、現場に持ち込む機材と人員を最小限にすることで、ライブ制作の効率を大幅にアップ。End to EndのIPソリューションを展示するとともに、海外のリモートプロダクション事例も多数紹介した。

出品製品：4Kシステムカメラ「LDX 86N with Direct IP+」/プロダクションスイッチャー「Kula IP」/リプレイシステム「LiveTouch IP」/IPスイッチ「GV Fabric」/IP SDIゲートウェイ「IQUCP25」/IPマルチビューワー「MV-820-IP」/統合型設定・管理・監視システムGV Orbit」/SDI/IPルーターコントロールシステム「GV Convergent」



4Kシステムカメラ「LDX 86N」



Remote/At-Home Acquisition

Media Workflow



いまや報道編集の定番となったEDIUS、カラーグレーディングを含むポストプロダクションの最高峰「Rio」。共に日本で開発する両編集システムの最新バージョンがリリース。さらに、8Kに対応するEDIUSの最高峰モデルも紹介した。

出品製品：8Kリアルタイム編集システム「HDWS 8K Elite」/ハイエンド編集/カラーグレーディングシステム「Rio」

Creative Grading



来年に迫った東京オリンピック2020でも来日する多くの放送局及びプロダクションが採用するネイティブ4Kカメラ「LDX 86N」シリーズ。

今回新発売となったCreative GradingパネルによるHDRシェーディングやエントリーモデルのFocusシリーズカメラも紹介。

出品製品：4Kシステムカメラ「LDX 86N with Creative Gradingパネル」/HDカメラ「Focus 70」



8Kリアルタイム編集システム「HDWS 8K Elite」



Mobile / Live Production Production Switcher Replay



Editing 製品アップデート

開期中に「EDIUS 9 Version 9.51」及び「HDWS 8Kシリーズ」に新機能追加の発表があった。

Pro/Workgroupでは、Blackmagic H/Wビデオ出力の改善/AJA KONA5/KONA1によるビデオキャプチャ(デッキコントロールなし)/AJA KONAによるビデオプレビュー1/Blackmagic H/Wビデオ出力の改善/Black-magicRAW 6Kデコード/Blackmagic Film Gamma 6Kのサポート/OlympusLog色空間のサポート/DNxHR 4444 MXF(アルファチャネル)エクスポート/Myncアップデートなど。

HDWS 8Kシリーズ(APAC/日本のみ)では、AJA KONA 5(HDWS 8Kのみを使用した8Kビデオプレビュー)/パナソニック「P2 8K SHV Exchange Format」エクスポートなどである。

また、EDIUS 9 "Plus" プロモーションとして、2020年4月30日までにEDIUS Pro 9ソフトウェア購入したユーザーに、EDIUS 9の次期バージョンもそのまま使用できるライセンスを提供すると発表した。

▶https://www.grassvalley.com/forms/edius9_plus-jp/



カラーグレーディングシステム「Rio」



IP Work Control & Monitoring

ノイトリック

発売間近の「NA2-IO-DPRO」や「opticalCON DRAGONFLY」をメイン展示。

opticalCON DRAGONFLY (オプティカルコン ドラゴンフライ)は従来の一般的なハイブリッドカメラ信号伝送システムよりも堅牢で信頼性が高く、保守が容易。特許取得済みのXB2テクノロジーを採用したファイバーレンズにより、最小限の損失で非常に堅牢な信号伝送を実現している。また、光学接続部分はレンズとシーリングカバー (オプション)により、汚れや埃に強くなっている。

また、InterBEE 開期直前の11日にNA2-IO-DPRO Dante インターフェースの受注受付を開始したと発表。

NA2-IO-DPROは2イン2アウト、発売以来好評のNA2-IO-DLINEと同じサイズにヘッドアンプ (ファンタム電源搭載)、AES/EBUコンバーター、Dante ネットワークの冗長化、デジチェーン対応等様々な機能を搭載しており、ラバープロテクションカバーを外せば



ラック、机、天井にマウン可能、カバーを付ければステージ上に直接置いても安心して使用できる。

マイクのゲインやファンタム電源、パッド、ラインアウトのボリュームやミュート設定はMacまたはWindows PCより専用コントロールソフトウェアで操作可能。AES/EBUはインプットの2番に信号を入力すると自動的にAES/EBUモードに切り替わる。

NA2-IO-DPROの背面パネルには、ノイトリック製イーサコンを使用したプライマリおよびセカンダリDanteポートがある。セカン



ダリ入力、冗長化 (リダンダント)モードまたはスイッチモード (デジチェーン用)のいずれかに設定できる。

60WのPoEを使用した場合最大8台、30Wの場合は最大4台までデジチェーン接続が可能。

NA2-IO-DPROはNA2-IO-DLINEと同様にAES67に準拠しています。電源供給は外部のPoEスイッチもしくはPoEインジェクターから行う必要がある。

▶ <http://www.neutrik.co.jp/>



ATV

4K/60P対応のスイッチャー、コンバーター、スプリッターを中心に展示。

カメラやパソコンなど、送出側の4K機器が急速に身近なものとなっている一方、スイッチャー等の制御機器は未だ高価・大型・複雑なため、せっかくの高画質を活かし切れない状況が多くみられる中、ATVは「本当に必要な機能とは？」を徹底的に検証し「シンプル操作ながらも必要にして充分な機能」をテーマとした製品群を出品した。

『A-PRO-1』は、「最小で最強」がコンセプトの、HDMI2.0 ミニマムAV ミキサー。2入力2出力の最小構成ながら、合成各種、静止画STILL、4K/HD間のUP&DOWNコンバート、フレームレート変換、リモート制御、複数台連動、信号断による自動切替等が可能である。

そのほか、本年発表の新製品4機種を展示。

HDMI2.0 4ch Multi-format Seamless Switcher『AV-4K-4X1』: マルチフォーマット入力、ディゾルブ切替、4画面マルチビュー、PinP等の設定をプリセット記憶、RS-232/IR/LANによるリモート制御、等が

可能。

HDMI2.0 4ch Splitter with Down Converter『AV-4K-1X4』: 各種オーディオフォーマット対応、 HDCP2.2/1.4対応、各出力にはダウンコンバーターを搭載し、UHD (4K)からFHDへの変換が各出力毎に独立して可能。

HDMI2.0 to 12G-SDI Converter『AV-4K-HS』/ 12G-SDI to HDMI2.0 Converter『AV-4K-SH』: HDMI2.0⇔12G-SDI間のコンバーター2機種。発熱を抑え、長期間使用にも安心なファンレス設計。8chオーディオに対応。

今回のATVブースは、今話題のSIGMA社カメラ「fp」(4K/30P)、Canon社カメラ「C200」(4K/60P)計6台を『AV-4K-4X1』に接続し、AverMedia社の4K/60Pキャプチャーボード搭載PCを使って、4K/60PでのYouTube Live配信と、HD/4Kでの収録を同時に行うシステムを展示。

実際のスイッチングを体験可能とした。また、被写体にはATVの人気製品であるaDrums



をセット。希望した方には試奏いただき、その様子を前記のシステムでスイッチング体験する、という充実した楽しいブースであった。

▶ <http://www.atvcorporation.com/>



4Kシリーズ新製品群

A-PRO-1



AV-4K-4X1_スイッチング体験



4K60P配信シミュレーション